

# とちぎの財政

(令和5(2023)年度)

とちぎけんの  
予算と財政状況を  
紹介します♪



150

栃木県誕生150年  
みんなで創る、未来のとちぎ

## ふるさととちぎ いちご王国 進化予算

### <予算編成の基本的考え方>

- I 栃木県誕生150年及びG7大臣会合の開催を契機とした郷土愛醸成や本県の魅力発信
- II 令和5(2023)年度政策経営基本方針に基づく重点事項の積極的な展開
- III 「とちぎ未来創造プラン」及び「とちぎ創生15<sup>いちご</sup>戦略(第2期)」の着実な推進



栃木県

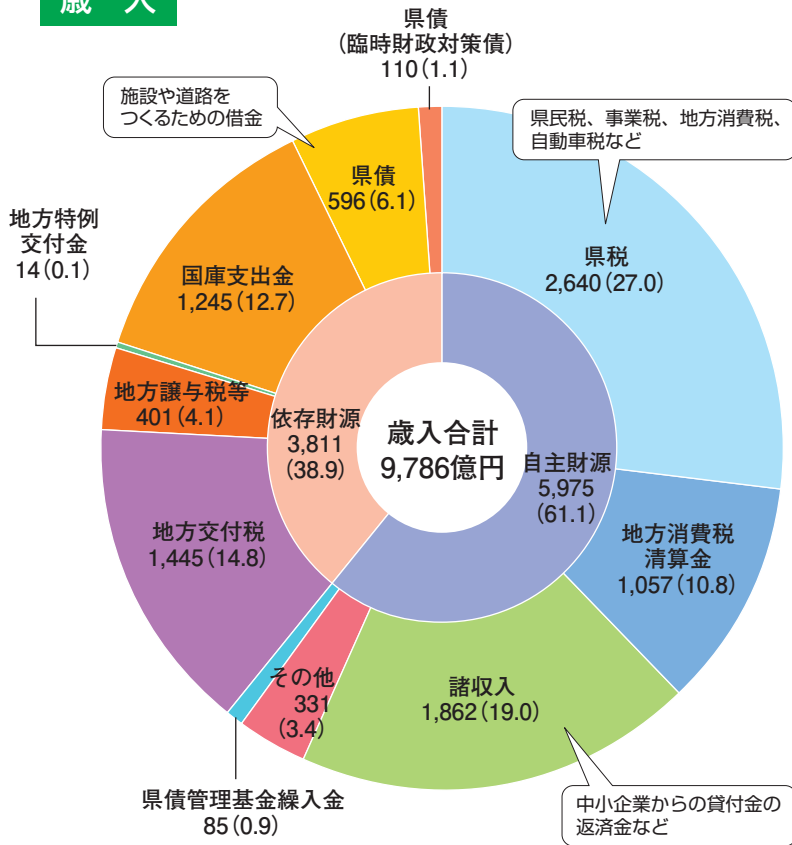
Tochigi Prefecture

# 1 令和5(2023)年度当初予算の概要等

## ◎予算規模(一般会計) 9,786億円

### 歳入

(単位：億円、%)



○歳入のうち、約27%が県税です。地方交付税、国庫支出金など国から配分されるものが約32%あります。

○全体の約7%を借金(県債)でまかなっているほか、足りない部分は貯金(県債管理基金)を取り崩しています。

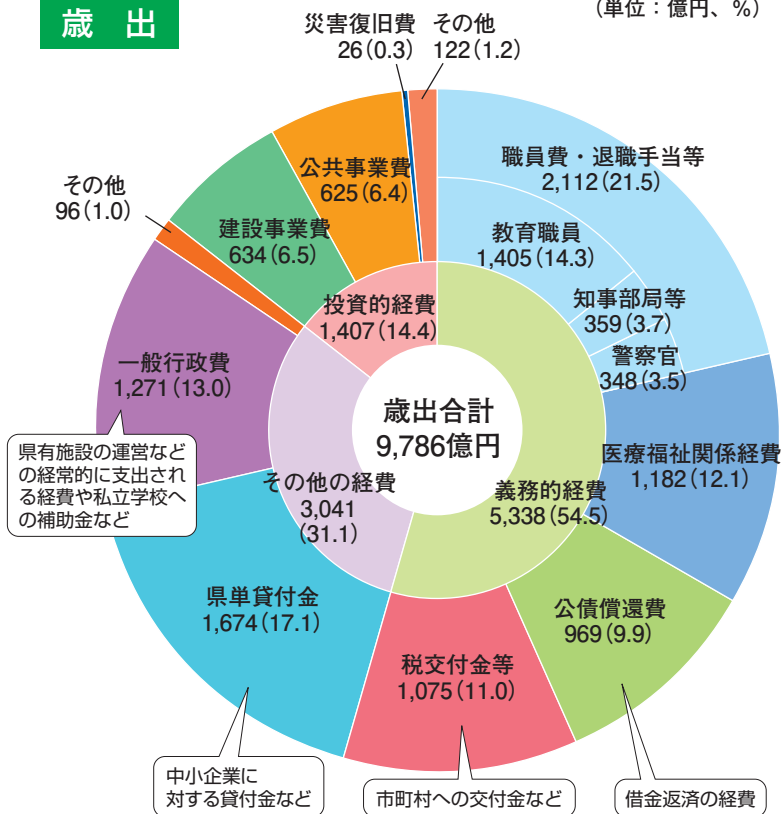
○借金(県債)のうち、約16%が臨時財政対策債(臨財債)です。

※臨時財政対策債(臨財債)とは  
臨時財政対策債は、国から地方公共団体に配分する地方交付税が足りないため、その不足する金額の一部を、いったん地方公共団体が借り入れをしてまかなう県債のことです。

なお、返済する際の財源は、全額、地方交付税で補てんされることとなっています。

### 歳出

(単位：億円、%)



○歳出のうち、約22%を職員費等が占めています。

このうち、公立小中高等学校の先生や警察官の給与などが約83%を占めています。

○職員費等のほか、医療福祉関係経費や公債償還費など義務的経費が全体の約55%を占めています。



# 令和5(2023)年度予算の特徴

15戦略 → 「とちぎ創生15戦略(第2期)」<sup>いちご</sup> 関連事業であることを示しています。

## I 栃木県誕生150年及びG7大臣会合の開催を契機とした郷土愛醸成や本県の魅力発信

- 栃木県誕生150年記念式典やイベント、若者未来デザインフォーラムなど年間を通じた多彩な特別企画を実施 **15戦略**
- G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合の開催支援や記念シンポジウムの開催 **15戦略** など

## II 令和5(2023)年度政策経営基本方針に基づく重点事項の積極的な展開

### いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会のレガシー等の未来への継承

- 大規模なスポーツ大会・スポーツ合宿の誘致等に向けた「栃木県スポーツコミッション(仮称)」の設立 **15戦略**
- 栃木県障害者スポーツ大会(いちご一会とちぎ大会記念大会)開催などによる障害者スポーツへの参加機会の拡大 **15戦略** など

### 若者、女性に選ばれる“魅力あるとちぎ”づくり

- 県内への移住・就職を検討している女性等に対する、デジタルスキルの習得や就労の支援 **15戦略**
- 企業間結婚支援婚シュルジュを活用した結婚応援企業の新規開拓や企業間交流会等の開催 **15戦略**
- こども医療費助成制度の対象年齢を中学校3年生まで、現物給付を小学校6年生まで拡大 **15戦略** など

### 新型コロナウイルス感染症の克服とポストコロナにおける本県産業の競争力強化

- 感染症法上の位置付けの見直しに伴う国の対応方針等を踏まえた医療提供体制や検査体制の確保
- 中小企業の事業活動継続に向けた資金繰りや生活困窮者の自立支援
- インバウンドのV字回復に向けた海外観光誘客拠点(観光レップ)の増設や本県を巡るツアー造成への支援 **15戦略** など

### デジタルトランスフォーメーション(DX)やカーボンニュートラルの実現に向けた取組の推進

- 県立学校におけるDXを推進するための外部人材の配置、タブレット端末等の効果的な活用の実践研究 **15戦略**
- 家庭用太陽光発電設備の導入や公共交通用バスのEV化への支援 **15戦略** など

## III 「とちぎ未来創造プラン」及び「とちぎ創生15戦略(第2期)」<sup>いちご</sup>の着実な推進

### とちぎ未来創造プラン (2021～2025)

とちぎの目指すべき将来像「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」の実現に向け、今後5年間に県が行う仕事の進め方等を示す県政の基本方針

### とちぎ創生15戦略(第2期) (2020～2024)

人口減少問題を克服し、将来にわたり地域の活力を維持していくため策定した栃木県版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

### 人材育成戦略

- 実社会での問題発見・解決にいかしていくため、教科等横断的な学びを推進する「STEAM(スティーム)\*教育」の実践・検証 **15戦略**
- 県立美術館・図書館・文書館を本県の文化振興の中核となる「文化と知」の創造拠点として整備するための構想の策定 **15戦略**
- 子ども総合科学館の展示更新などの大規模改修 など

\*Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Arts(人文社会・芸術・デザイン)、Mathematics(数学)の教育分野

### 産業成長戦略

- 様々な分野の人材育成情報や就職支援情報等の発信や相談対応等を行う「とちぎ職業人材カレッジ(仮称)」の開設 **15戦略**
- 「とちあいか」等の生産拡大や「とちぎの星」の特長を生かした商品開発の支援 **15戦略**
- 林業・木材産業における多様な人材の確保・育成を図るための「栃木県林業大学校」の整備 **15戦略** など

### 健康長寿・共生戦略

- 女子学生の理工系分野への進路選択を促進するための、同分野で活躍する女性へのインタビュー動画の制作・配信 **15戦略**
- ヤングケアラーに対する市町等と連携した包括的な支援 **15戦略** など

### 安全・安心戦略

- 総合防災拠点に位置付けた県総合運動公園内への新防災教育施設の整備に向けた基本計画の策定
- 災害の未然防止を図るための河川の改良復旧や堆積土除去等の推進 など






### 地域・環境戦略

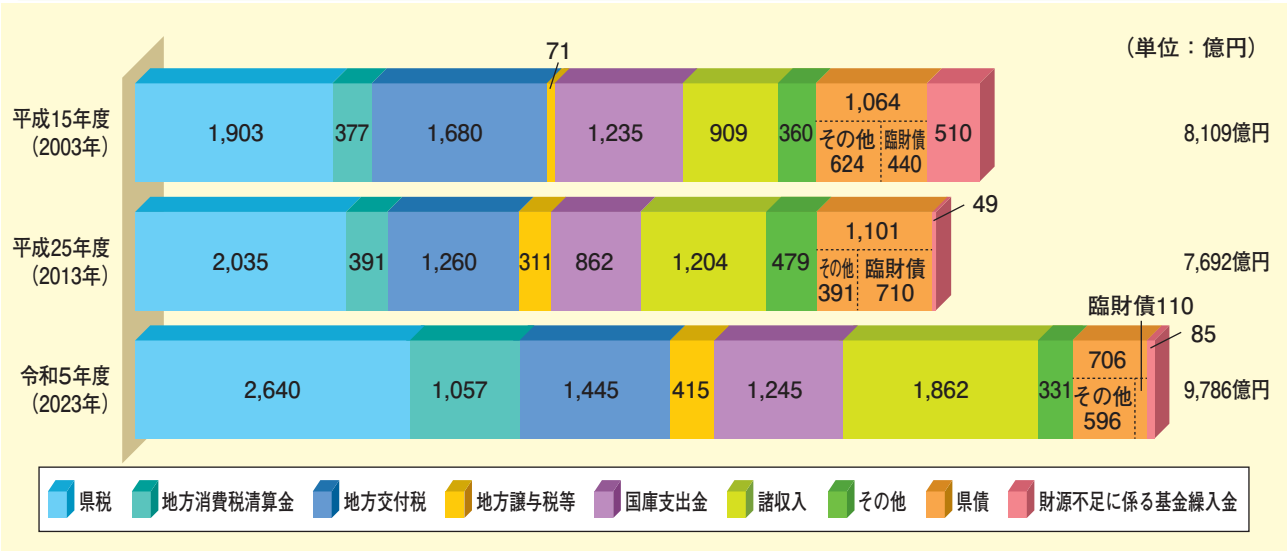
- 女性や子育て世帯の移住・定住促進のためのセミナーや移住体験ツアーの実施 **15戦略**
- 県営都市公園へのPark-PFI\*の導入 **15戦略** など

\*民間資金等を活用して都市公園の魅力向上を図るための公募設置管理制度





## 2 令和5(2023)年度予算の内訳(過去の予算と比べてみると)

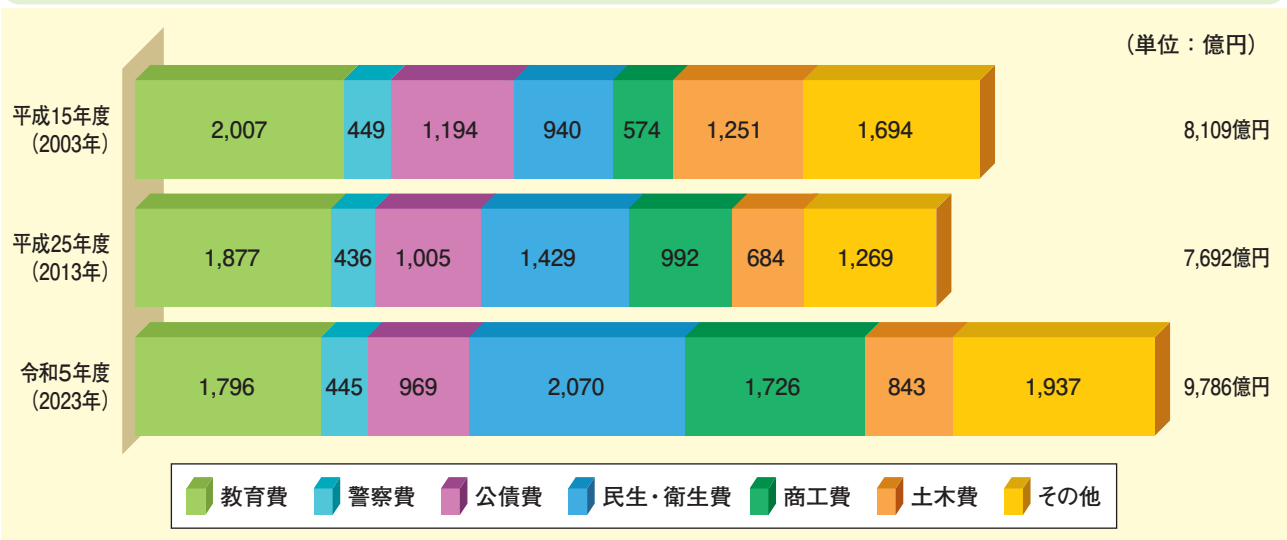
### 歳入

- 県税（）及び地方消費税清算金（）は、消費税率の10%への引上げ等により、消費税率が5%だった平成25(2013)年度に比べると増加しています。
- 一方、臨時財政対策債（臨財債）（）は平成25(2013)年度に比べて減少しています。
- 新型コロナウイルス感染症やエネルギー価格・物価高騰の影響を受けた企業等に対する貸付金の返済に伴い、諸収入（）が大きく増加しています。
- 財源不足に係る基金繰入金（）は、平成29(2017)年度以降は100億円前後で推移していましたが、令和5(2023)年度は85億円となっています。



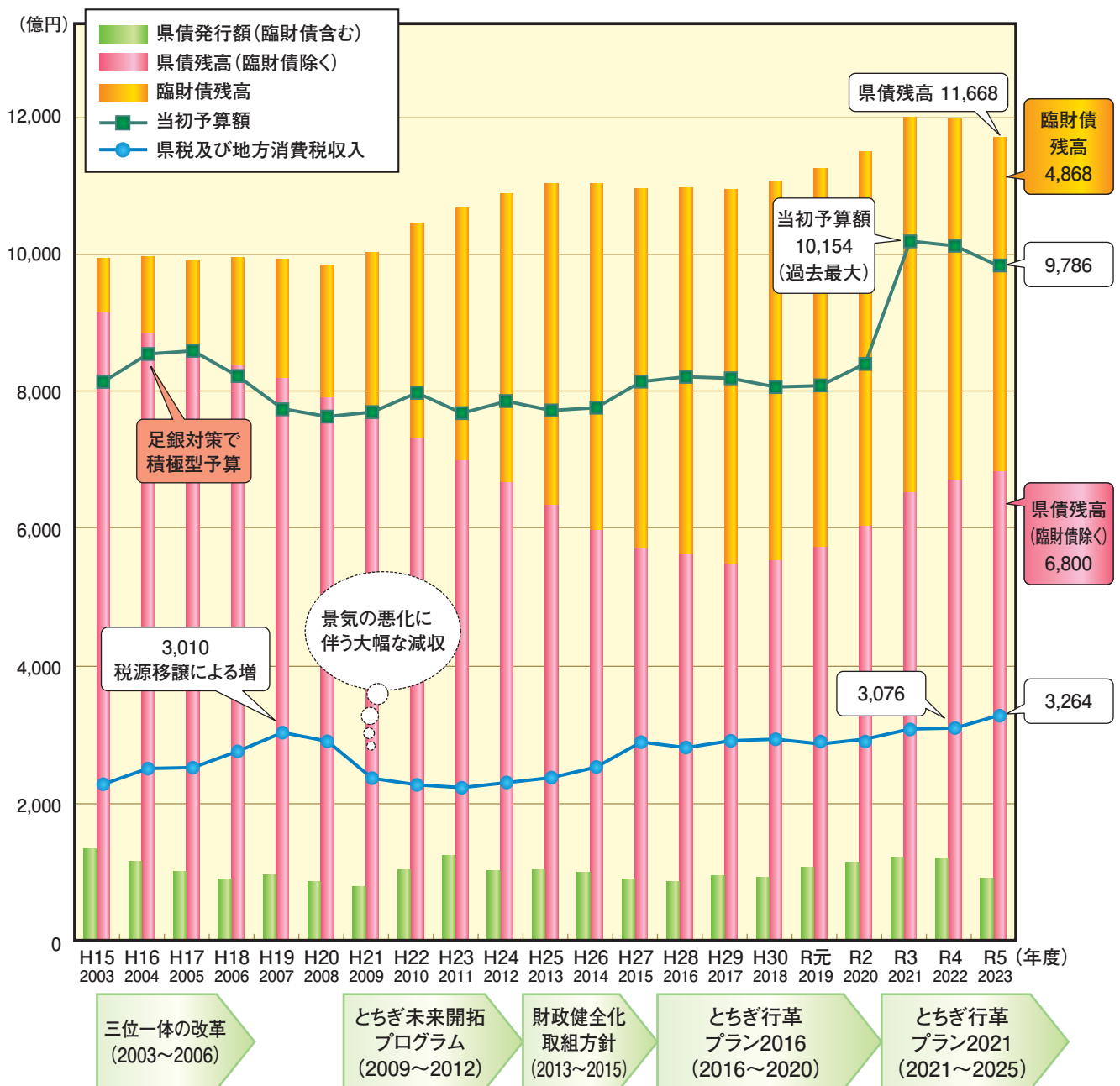
### 歳出

- 高齢化の進行等に伴い、福祉・医療の経費（ 民生・衛生費）が平成15(2003)年度の約2倍と大きな負担となっており、今後もこの傾向が続くものと見込まれます。
- 公共施設の建設費（ 土木費）は、平成15(2003)年度に比べて約7割になっており、大きく減少していますが、平成25(2013)年度に比べると増加しています。
- 新型コロナウイルス感染症やエネルギー価格・物価高騰の影響を受けた企業等の資金繰り支援のため、貸付金（ 商工費）が大きく増加しています。
- 過去の借金に対する返済経費（ 公債費）は、年間約1,000億円となっており、大きな負担となっています。また、この返済経費は、今後増加していくことが見込まれています。



### 3 栃木県財政の推移（過去20年間をしてみると）

- 令和5（2023）年度の予算規模（当初予算額 ■）は、国体開催経費や新型コロナウイルス感染症への対応経費の減などにより、令和4（2022）年度当初予算に対して、300億円の減となり、当初予算としては3年ぶりに1兆円を下回りました。
- 県税及び地方消費税収入※（●）は、平成24（2012）年度以降、企業収益の回復や地方消費税率引上げ等により増加しており、令和5（2023）年度は、これまでの最大額である令和4（2022）年度の3,076億円を超える3,264億円の予算を計上しています。
- 臨時財政対策債（臨財債）を除く県債残高は、平成14（2002）年度に過去最大の9,472億円に達した以降減少していましたが、総合スポーツゾーン等の大規模建設事業や災害復旧事業などの実施により、平成30（2018）年度以降増加しており、令和5（2023）年度末の見込額は6,800億円となっています。また、臨時財政対策債（臨財債）の残高も令和4（2022）年から減少していますが依然として高水準であり、令和5（2023）年度末の県債残高全体の見込額は1兆1,668億円となっています。



※県債残高、県債発行額、県税及び地方消費税収入については、令和3（2021）年度までは決算額、令和4（2022）年度は2月補正後、令和5（2023）年度は当初予算額です。  
 県税及び地方消費税収入については、県税と都道府県間清算後の地方消費税清算金の合計です。

## 4 今後の財政収支見込み

○令和9(2027)年度までの間に、単年度で70億円台から80億円台の財源不足が見込まれており、それに伴い財政調整的基金残高は減少していく見込みです。

### 栃木県の中期財政収支見込みについて

#### 概要

- ・令和5(2023)年度当初予算や国の地方財政計画等を踏まえ、いくつかの前提条件を設定し中期的な収支見込みを試算しました。
- ・今後の経済情勢の変化や国の予算編成の動向等により、試算した数値は大きく変動します。

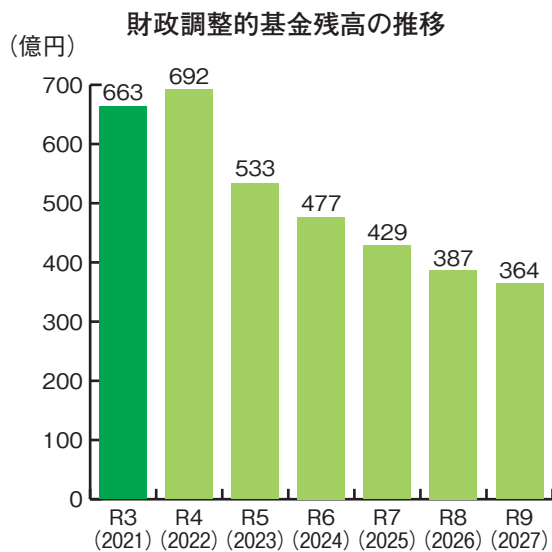
#### 試算の考え方

- ・職員費は一般職員、教員の増減等を、退職手当は定年の段階的引上げに伴う影響額を反映しています。
- ・投資的経費には、公共事業のほか、公共施設の長寿命化経費などを見込んでいます。
- ・公債費は今後の発行額を、医療福祉関係経費等は高齢化の進行を見込んで試算しています。
- ・県税・地方消費税収入、税交付金等は、税制改正の影響を見込んでいます。

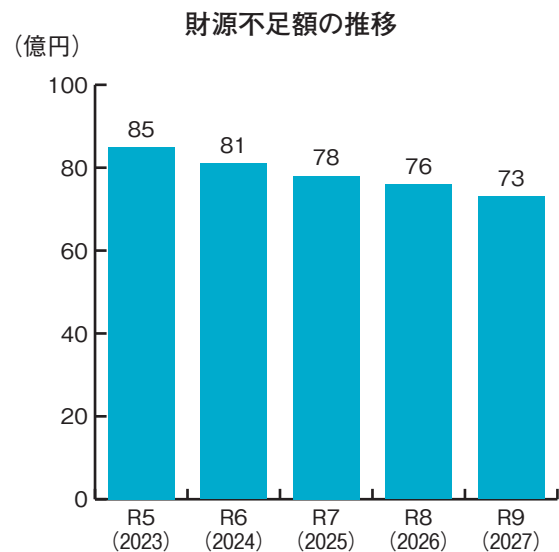
(単位：億円)

区 分	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
歳出合計(一般財源)※ A	6,000	5,998	5,996	5,879	5,868
歳入合計(一般財源)※ B	5,915	5,917	5,918	5,803	5,795
財源不足額(収支差) C=B-A	▲85	▲81	▲78	▲76	▲73
基金充当額	85	81	78	76	73
年度末財政調整的基金残高見込み	533	477	429	387	364
年度末県債残高見込み	11,668	11,487	11,301	10,983	10,650
臨財債以外	6,800	6,983	7,151	7,180	7,184

※歳出合計(一般財源)及び歳入合計(一般財源)については、地方消費税清算金を他都道府県と清算した後の数値で試算しています。



※令和3(2021)年度は決算額、令和4(2022)年度は2月補正後の額です。



## 5 財政健全化への取組

- 中期財政収支見込みにおいては、高齢化の進行等による医療福祉関係経費の増加などにより今後も財源不足が見込まれています。
- 引き続き、財政健全化に取り組み、持続可能な財政基盤を確立していく必要があります。

### ○「とちぎ行革プラン2021」における主な取組項目

#### 1 財政の健全性の確保

- 中期的な視点に立った財政運営  
歳入規模に見合った歳出構造への転換を進め財政調整的基金の涵養を図るほか、適切な県債発行に努めます。
- 歳入確保に向けた取組の推進  
滞納の未然防止や債権回収の強化、広告収入の増大等により、歳入の確保に努めます。
- 徹底した歳出の見直し  
選択と集中による事務事業の見直しに取り組みむとともに、補助金等の必要な見直しに努めます。

#### 2 公共施設等の適正管理と総合的な利活用

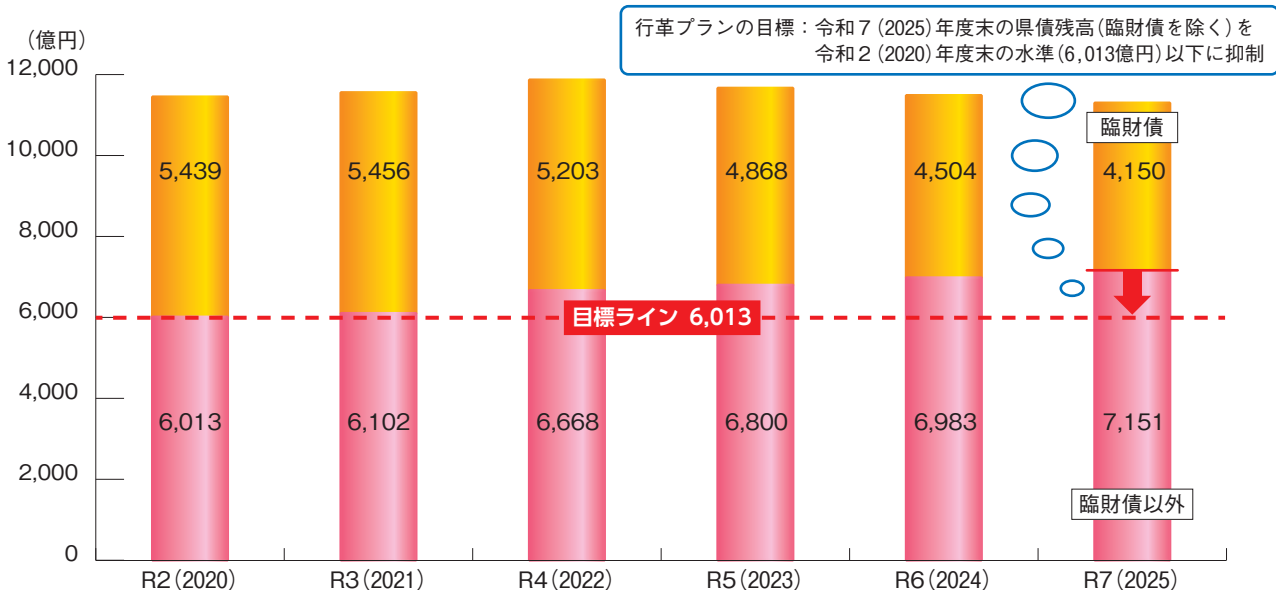
- 公共施設等の利活用の推進・最適化  
公共施設等について、総合的・計画的な管理を行うとともに、効率的な利活用や未利用財産の売却等を推進します。
- 県有建築物の長寿命化の推進  
県有建築物について、適切に点検・診断を実施し維持管理することにより、長寿命化を推進します。
- 使用料等のあり方を見直し  
県有財産の使用料等について、社会経済情勢の変化等を踏まえたあり方を検証し、適正化を図ります。

#### 3 公営企業等の自立的経営

- 公営企業の効率的な経営  
企業局経営戦略に基づき、人口減少や更新投資の増大による影響等を見据えて、経営改善に取り組みます。
- 病院事業経営の健全化  
病院事業について、経営改革プラン等に基づき自立的な経営に向けた改善に取り組みます。
- 県出資法人等の自立的な経営  
出資法人等に対し、経営の適正化や業務の活性化等に向けて、必要かつ適切な指導等を行います。

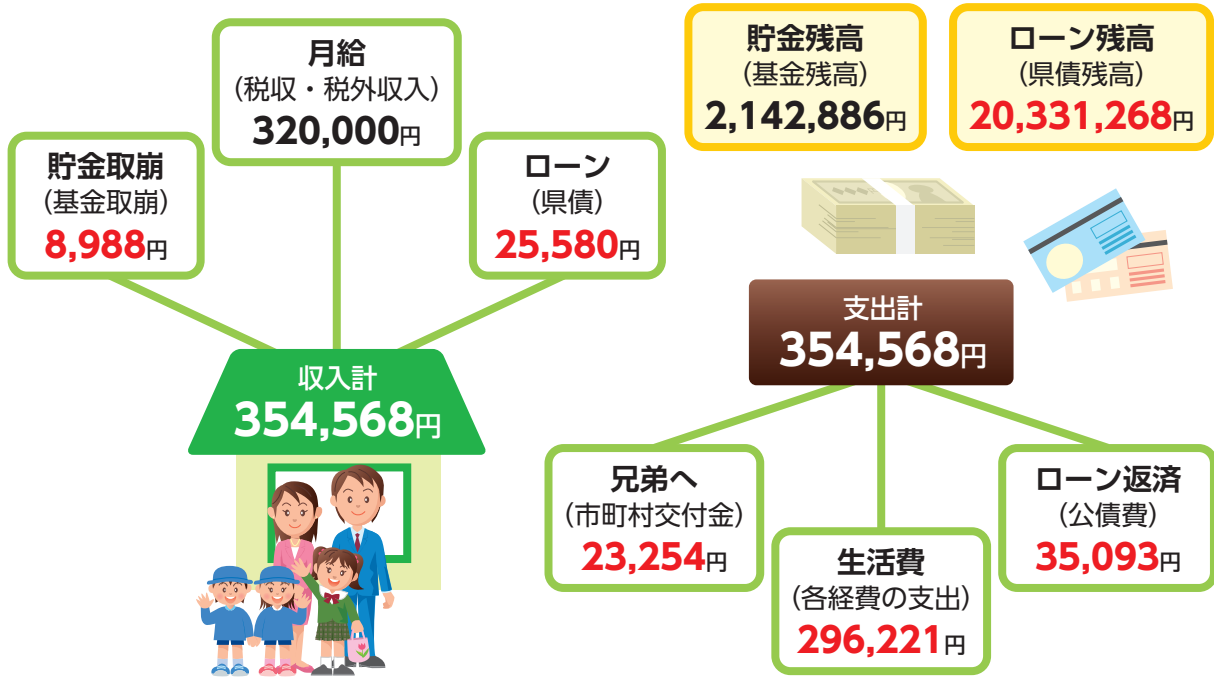
### 【県債残高の推計】

- 「とちぎ行革プラン2021」では、適切な県債の発行及び将来負担の抑制を取組内容の一つにしています。今後も、国の国土強靱化のための5か年加速化対策に呼応した事業の実施等により、臨時財政対策債以外の県債発行額が高止まりで推移することが見込まれますが、県債の適正な発行や県有施設整備基金の涵養等により、県債残高の抑制を図るとともに、財政措置のある有利な地方債を活用し、将来負担の軽減に努めます。



※令和2(2020)・3(2021)年度は決算、令和4(2022)年度は2月補正後、令和5(2023)年度は当初予算時点での残高です。  
なお、今後の経済環境の変化や災害の発生状況等によって、試算した数値は大きく変動することがあります。

## 栃木県の財政を月給32万円のサラリーマン世帯に例えると (令和5(2023)年度)



## 栃木県誕生150年記念イベントに参加しよう!!

栃木県は、明治6(1873)年6月15日に、当時の栃木県、宇都宮県が合併して誕生し、令和5(2023)年で150年を迎えます。150年を祝う様々な記念行事が県内各地で行われる予定です。ぜひご参加いただき、ふるさと“とちぎ”に想いを寄せ、とちぎで生まれ、育ち、暮らす喜びと誇りを分かち合い、活力と希望に満ちたとちぎづくりに向けて、オールとちぎで盛り上げていきましょう。

### 県が開催予定のイベント等

- ・誕生150年記念県民の日イベント
- ・若者が将来のとちぎを描き、発表する「若者未来デザインフォーラム」
- ・本県ゆかりのミュージシャン等による若者応援ライブイベント
- ・本県の国体選手やプロスポーツ選手とふれ合えるスポーツイベント
- ・国際音楽交歓コンサート
- ・ベルギー王国大使館別荘(中禅寺湖畔)特別公開 など

栃木県誕生150年記念サイト  
みんなで創る、未来のとちぎ

特設ウェブサイトでは、本県の歩みを詳しく紹介するほか、イベントの情報を随時掲載していきます。



◎お問い合わせ先 生活文化スポーツ部 県民協働推進課  
TEL 028-623-3422

## ふるさと“とちぎ”への応援(寄附)を募集しています!!

みなさまからのご寄附は、スポーツの活用による地域活性化、プロスポーツ支援、文化の振興、輝く人づくり、交通安全、福祉の向上、医療の充実、森づくり、学生の応援や日光杉並木街道保護など、ふるさと“とちぎ”づくりのために幅広く活用させていただきます。

- ◎クレジットカードでも寄附金を納付することができます。
- ◎ふるさと納税として、所得税、個人住民税の控除の対象になります。



◎お問い合わせ先 総合政策部 地域振興課  
TEL 028-623-2233

## 栃木県宝くじ情報

みなさ～ん  
宝くじは栃木県内で  
買ってね。



県内で発売された宝くじの収益金は、皆さんの身近な暮らしに役立っています。

◎お問い合わせ先 財政課  
TEL 028-623-2017

## 栃木県経営管理部財政課

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20  
TEL 028-623-2017  
URL <https://www.pref.tochigi.lg.jp>  
E-mail [zaisei@pref.tochigi.lg.jp](mailto:zaisei@pref.tochigi.lg.jp)